

学術論文の書き方に関するガイドライン

～ 学術雑誌に投稿するために～

学術論文の主体は原著論文である。原著の意味は、「それまでに知られていない新しいことを含む論文」である。原著論文は、通常、緒言、対象(材料)および方法、結果、考察、結論、謝辞、文献を整理して記載する。他の、症例報告、調査報告についてもなるべくこの様式に順ずる書き方が薦められる。

重要なことは、学術論文を「なぜ書くのか」「何のために書くのか」という目的意識をしっかり持ち、十分なエビデンスに基づき、読者に役立つように正確な情報提供を心がけねばならない。また、文章は簡潔明瞭で、読者にできるだけ良く理解してもらえるように、書き方のルールを守らなくてはならない。そこが、小説や随筆と自然科学に基づく論文の違いである。

以下に論文の書き方のルールを項目に分けて示す。

1. 「タイトル」について

- 1)何を伝えたいか「ひと目でわかる」タイトルをつける。読者がその論文の概要を理解しやすいものであること。
- 2)タイトルを作るに当たっては、研究課題と研究手法のキーワード(著者が、読者にもっとも伝えたい重要で、興味あること)を組み合わせて作ることがポイントである。
- 3)タイトルには原則として固有名詞を入れない。論文は、読者に広く役立つ普遍的な内容であるべきで、その組織もしくは機関でなければできない特定研究の場合、あるいは、その論文を理解する上で読者により親切であると考えられる場合は、例外として固有名詞をサブタイトルに入れることもある。

2. 「緒言」について

- 1)緒言には目的を記載するが、論文投稿の目的ではなく、本研究の目的を記載する。
- 2)その研究を行う必然性について「起承転結」(物事の順序)を明確に記載すること。
- 3)「緒言」に対しては、「結論」が必要である。「緒言」を「はじめに」または「目的」とした場合は、「結論」または「まとめ」を記載する。

3. 「対象および方法」について

- 1)一般的に行われる周知の方法を用いた場合は、簡単な記載でよいが、著者が開発した独自の研究法や調査法を用いた場合は、興味を持った読者がすぐに追試できるように、具体的に対象(材料)、器具、術式について詳細な記載が必要である。
- 2)患者へのプライバシー保護のため調査・症例対象を明確に示すことが適当でない場合は、それらの諸条件を知ることが、読者の理解のため必要な場合もあるため、「場所の概略」や「病院の規模」などを極力記載する。(例:「～県」、「～市」、「某病院」、「その規模」な

どで、「当院に」は、学術論文としては適切でない)

3)患者さんのイニシャルも本分や図表に記してはいけない(プライバシーの保護)。

4. 「結果」について

1)結果は結果のみを記載して、考察的な表現は避ける。

2)内容は、項目立てをして分類して項目の番号は投稿規程に順じ正確に記載する。

5. 「考察」について

1)文章が長い場合は、項目を分けて簡潔に記載する。

2)結果の繰り返しにならないように注意する。

3)文献を引用する場合には、その内容を正確に理解して、表現は主観が入らないよう正確に記載する。

6. 「結論」または「まとめ」について

1)結論やまとめのみを読む読者も多いため、結論は総括の意味も含めて研究の概略が理解できるように配慮する。

2)考察の延長は避ける。

7. 「図・表」について

1) 図で使用する写真などはプライバシーを保護できるように十分配慮する。

2)表のタイトルは上、図のタイトルは下に記載する。

3)図の説明は、その説明のみで内容がわかるように記載する。

4)検定結果の記入で、「 $p < 0.01$ 」の「p」は、大文字でなく、小文字の「p」を使う。

5)細菌名はイタリック(斜体文字)を使用する。

8. 症例報告について

1)基本的には、原著論文と同様の流れで記載する。

2)いきなり症例を紹介するのではなく、どこの病院で、どのような患者の、どのような例を、どれだけ選んだかなどの記載が必要である。

9. 全体について

1)用語は統一していますか？

例：平成 17 年、H17 年、17 年など不統一ではないですか？

2)大文字と小文字は統一していますか？

例：2005 年、2005 年など不統一ではないですか？

3)「です。」「ます。」は使いません。「である。」調に統一されていますか？

4)平仮名書きをする副詞と接続詞(例)

なお(×尚)、まず(×先ず)、もっとも(×最も)、および(×及び)、わずかに(×僅かに)、すべて(×全て)、なぜ(×何故)、もちろん(×勿論)、また(×又)、すなわち(×即ち)

5)項目に番号をつける場合の順序は統一していますか？

例：、1, 1) (1)、a、a)、(a)・・